

<日本・アジアのキリスト教> (演習・Seminar)

A: 日程・場所

演習日(前期): 4/14, 21, 28, 5/12, 19, 26, 6/2, 9, 16, 23, 30, 7/7, 14

場所: キリスト教学研究室(新館8階、811号室)

B: テキスト

・波多野精一 『波多野精一全集1、2』 岩波書店

「日本・アジアのキリスト教」研究の向けて

東アジアの宗教状況と文化キリスト教

<内容>

1. 問題
2. 東アジアの宗教状況とキリスト教
3. 東アジアの文化キリスト教
4. 展望

1 問題

1. 近代社会
政教分離 → 宗教は私的事柄
2. しかし、政教分離は決して単純ではない、公私二元論への批判
宗教と公共性との関わりを問うことによって、公共性の問題をより精密に議論する

2 東アジアの宗教状況とキリスト教

3. David B.Barrett, George T.Kurian, Todd M.Johnson (eds.)
World Christian Encyclopedia. A comparative survey of churches and religions in the modern world. Vol.1 second edition, Oxford University Press 2001

A: アジアの宗教動向と予想

	イスラム	ヒンズー	無宗教	仏教	キリスト教
1995年	21.8%	21.6	16.9	9.8	8.2
2000年	22.5	21.8	16.5	9.6	8.5
2025年	25.7	21.9	14.8	8.6	9.8

B：中国のキリスト教

	無宗教	民俗宗教	無神論	仏教	キリスト教
1995	42.3 %	28.7	8.4	8.3	6.5
2000	42.2	28.5	8.1	8.4	7.1
2025	40.6	28.6	7.5	8.5	9.2

	1900 (0.4%)	1970 (0.2%)	1990 (5.7%)	2000 (7.1%)	2025 (9.2%)
Christians	1,670,000	1,515,000	64,864,000	89,055,551	135,190,000
crypto-	0	850,000	62,350,000	75,000,000	117,000,000
professing	1,670,000	665,000	2,514,000	14,055,551	18,190,000
R. Catholics	1,100,000	383,227	6,200,000	7,500,000	14,000,000
Protestants	350,000	222,165	520,000	640,000	900,000
Independents	1,000	848,063	58,000,000	80,708,347	120,000,000

郡山千里氏：<http://www.gospeljapan.com>

中国国務院（政府）新聞弁公室は十月十六日、「中国の信教信仰の自由の状況」を公表中国の人口約十二億人の内、各種の宗教を信仰している国民は一億人あまり、プロテスタントが一千万人、カトリックは四百万人（1996/10/20）

4. 近代化は伝統宗教に大きな変化をもたらした、新しい宗教運動のうねりの存在
数次にわたる宗教ブーム
5. 宗教と習俗、宗教と家 → キリスト教的な宗教概念で分析することの問題性
6. キリスト教の現状の多様性とその解釈（キリスト教との関わりで東アジアを分析する）
東アジアにおけるナショナリズム（近代国民国家）とキリスト教
近代的な市民原理と伝統的象徴体系
韓国／中国／日本

3 東アジアの文化キリスト教

7. 近代化を通じたキリスト教の影響をどのように分析するか
人口の1%という日本のキリスト教が近代日本に及ぼした影響をどのように説明するののか
8. 中国のキリスト教
三自愛国教会（1920年代の「本色教会」（Indigenous Church）運動に遡る）と地下教会
三自愛国運動（自治、自養、自伝）と家の教会の二重性
丁光訓ほか『中国のキリスト者はかく信ず』新教新書、1984年
レイモンド・フン編『中国の家の教会 文化大革命を生きぬいたキリスト者』新教新書、1984年
9. トレルチの議論
教会（Kirche）と分派（Sekte）、そして神秘主義（Mystik）
近代（啓蒙的合理主義）：国教会体制と自由教会、教養市民層の宗教

世俗主義

10. 中国のもう一つのキリスト教、文化キリスト教

アジアのキリスト教は、文化キリスト教を含めた評価が必要である

日本におけるキリスト教の評価は、大きく変わるかもしれない

文化・教育・習俗におけるキリスト教のに広がり

11. 植村正久の議論

「しかしながら今日教会の有様はどうであるか」（「時代の要求と教会の要求」、385）、
「或る観察の鋭い雑誌主筆などは言って居る。日本は早かれ晩かれキリスト教国になる
のである。それだけでなくは文明国の間に仲間交際が出来ないから、自然上下いつの間
にかキリスト教徒となってしまうであろう。教会はあっても無くてもそれは同じだ。事
によったら教会はかえって邪魔になるかも知れないと。これは一面の観察である」、「余
輩は教会が社会の一方に覇を唱え、その中には堅い信仰が充ち、健全な道徳が備わって
居るため、浮薄な社会がただ勢いに推されて形ばかりのキリスト教に流れて行くのを或
いは遮り、或いは堰き止め、かくて邪魔になるであろうと信ずる。是非こういう地位勢
力に致さなければならぬのである。教会とはどこまでも骨格である、柱である。」(同、386)

12. 日本における文化キリスト教

「文化キリスト教」（倫理的生き方としては聖書的キリスト教を採用しつつも、教会と
の繋がりを持っていない知識人を中心としたキリスト教）

日本においては、明治時代から大正時代にかけて同様の傾向が顕在化したように思わ
れる——こうした大正時代のキリスト教の変化については、（土肥、1980、228-230）
を参照——。

4 展望

13. 現代における宗教の多様な形態に相応しい宗教理論の構築をめざして、その注目すべ き事例としての東アジアのキリスト教

14. 教会的キリスト教

家族・個人の私的領域における宗教

地域の公共性の担い手としての宗教

ナショナリズムの構成要素として宗教

15. 文化キリスト教

個人の私的領域における宗教

個人の生き方の規範としての宗教性

スピリチュアリティ

制度的宗教の周辺あるいは裾野

超高齢化社会の人間関係の基盤としての宗教

<文献1・中国のキリスト教>

- ・ ジャック・ジュルネ 『中国とキリスト教 最初の対決』法政大学出版局、1996年。
- ・ Daniel H. Bays (ed.), *Christianity in China. From the Eighteenth Century to the Present*,

Stanford University Press 1996.

- Lian Xi, *The Conversion of Missionaries. Liberalism in American Protestant Missions in China, 1907-1932*, The Pennsylvania State University Press 1997.
- Werner Ustorf, Toshiko Murayama (eds.), *Identity and Marginality. Rethinking Christianity in North East Asia*, Peter Lang 2000.
- 佐伯良郎『支那基督教の研究』（全五巻）春秋社、昭和18年。
- 吉田 寅「第四節 中国」、日本基督教団出版局編『アジア・キリスト教の歴史』日本基督教団出版局、1991年、pp.127-175。
- 山本澄子『中国キリスト教史研究』山川出版社、1972年（2006年）。
- 徐 亦猛「中国における本色化（土着化）運動の先駆者呉雷川」『アジア・キリスト教・多元性』（現代キリスト教思想研究会）第4号、31-42頁。
「中国におけるキリスト教本色化運動—呉耀宗の思想の考察—」『アジア・キリスト教・多元性』（現代キリスト教思想研究会）第5号、71-80頁。
- 富坂キリスト教センター編『原典 現代中国キリスト教資料集』新教出版社、2008年。

<文献2>

- 植村正久「時代の要求と教会の要求」（『福音新報』589、M39/10/11）、『植村正久著作集 第一巻』新教出版社、1966年。
- Ernst Troeltsch, *Die Soziallehren der christlichen Kirchen und Gruppen* (1912), Scientia Verlag, 1977.
- Wolfhart Pannenberg, *Problemgeschichte der neueren evangelischen Theologie in Deutschland. Von Schleiermacher bis zu Barth und Tillich*, Vandenhoeck & Ruprecht, 1997, S.25-32.
- 金子晴勇『近代人の宿命とキリスト教——世俗化の人間学的考察』聖学院大学出版会、2001年。
- 土肥昭夫『日本プロテスタント・キリスト教史』新教出版社、1980年。